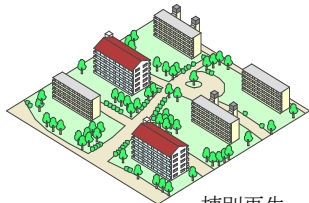
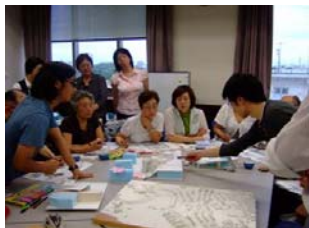


(1) 郊外住宅団地の再生手法の研究



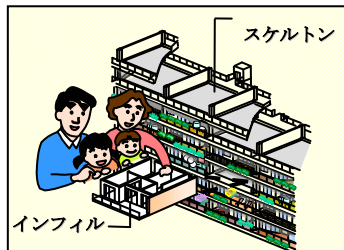
棟別再生



人口減少・少子高齢化を背景として郊外団地の衰退が懸念されており、その解決に向けた計画技術を研究開発している。具体的には、分譲団地では減築・棟別再生技術、LLPシェア居住による空家対策、賃貸団地では居住者負担によるリフォーム技術、住宅組合による運営手法を研究し、現場でのアクションリサーチを実施している。その成果は、マスコミを含め各方面から注目されている。

(2) スケルトン・インフィル方式による住宅・住宅地計画

長期耐用性をもつスケルトンと、時代変化に応じる可変性をもつインフィルを明確に区分した建築物（S I 建築）の計画技術を研究している。この建築の設計条件（耐用性、空間容量等）を明確にしつつ、住宅供給手法や法制度（二段階建築確認、立体基盤所有法、スケルトン定借等）を開発。建築学会賞を受けている。



S I 建築による都市の骨格